リエコの「まほうの言葉」

リエコの国語道場 4

作・画／あべかよこ　監修／甲斐利恵子

青木先生…悩んでいますね

わ、わかりますか？

今日のお悩み先生 青木先生

あれ…僕、まだ名前も名乗っていないのに…

リエコ先生もしや…心が読める!?

ひいい～～

事前に答えてもらったアンケートに書いてあるわ

そ…そうですよね

ほっ!!

で、一日一個のプリンがやめられない…というお悩みね

そ、それじゃないです！

その下の…

むむっ!?

国語道場 今日のお悩み

生徒たちにより深い考えをもたせたい！

ふむふむ詳しく聞かせて？

はい！

甲斐利恵子 かいりえこ
福岡県生まれ。軽井沢風越学園教諭。専門は国語科単元学習。
光村図書中学校『国語』教科書の編集委員。

例えば、授業の中で

はい、じゃあこの登場人物の人物像について書いてみようね

すると みんな同じような表面的な捉え方をしてしまうんです

優しい人だ。

いい人だ。

思いやりのある人だ。

うーむ

よーく考えて自分なりの言葉で表現してみよう！

質問があったらきいてね！

いつもそう励ますんですけど

励ますだけではね…

「まほうの言葉」を使って生徒の思考を深めていきましょう！

「まほうの言葉」!?

エクスペクト・パトローナム！

バババ

そういうのじゃなくてー！

例えば「アイスプラネット」（二年）の授業では…

ぐうちゃんの人物像について書いてみよう

すると…

ぐうちゃんは、ぐうたらです。

ほら話が得意です。

ニートのおじさんです。

生徒はこんな文章を書いてきます

もっと人物の深みに気づいてほしいのに…

はい、そこで「まほうの言葉」を投入！

言葉は考えを連れてきます。話し合いで混乱しているとき、「そもそも」を使ってみると、方向性を取り戻せます。
何を言いたいかわからないときは「つまり」、内容を端的につかみたいときは「ひと言でいうと」。やはり、まほうですね!